１０周年記念し映画上映や冊子も

府在宅保健師の会総会・研修会

府在宅保健師の会の平成２７年度総会・研修会が５月２７日に京都市下京区のメルパルク京都で開かれ、２５人の保健師が参加した。

総会では家原裕子会長が「平成１７年に会が発足し、今年は１０周年となります。当初３０人だった会員は現在１１０人となりました。１０周年の記念事業も予定しており、本日の研修会を通しさらに会員同士の横のつながりを大切にしていただき情報交換を深めていただきたい」と挨拶した。１０周年の記念事業として「会員の生の声」などを掲載した記念冊子を発行するほか、平成２８年２月ごろに予定している研修会で保健師の生き方を追ったドキュメンタリー映画「日本の保健婦さん　前田黎生（あけみ）９５歳の旅路」を描いた映画「保健師」の上映会を予定していることを明らかにした。

続いて平成２６年度事業報告・歳入歳出決算、２７年度事業計画・歳入歳出予算、２７年度役員体制の議案をすべて承認した。役員体制では家原会長らを再任した。

この後の研修会では日本歯周病学会の歯周病専門医・指導医でもある牧草歯科医院（京田辺市）の牧草一人院長が「知っておきたい歯周病の知識」と題して講演した。牧草氏は「最近は若い人にも歯周病がみられ、日本人の８割が歯周病といわれています」と指摘し「歯周病はバイオフィルムという状態になった細菌が感染して起こす感染症で、口の中はいわば『ばい菌』の巣といえます。このばい菌を機械的に除去するしかなく、ブラッシング（歯磨き）で除去するのが最大の予防法といえます」と日々の歯磨きの大切さを訴えた。

牧草院長

講演後、３グループに分かれ、情報交換会で交流を深めた。